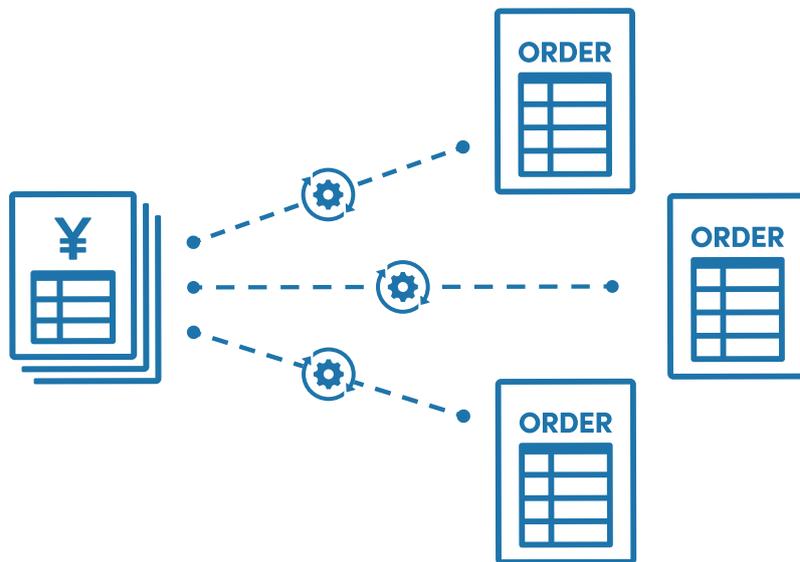


## 発注データと請求書の照合作業を効率化する 発注データ照合オプション

主に製造業や建設業、小売業、卸売業といった業種の企業では、  
商品やサービスの購入に当たって、発注日や金額、取引先といった情報を発注データとして管理し、  
受け取った請求書の内容と発注内容が合致していることを確認する照合作業を行っています。  
照合作業には、目視での確認をはじめ非効率な対応が発生しており、課題と捉えている企業は少なくありません。  
アナログだった発注データと請求書の照合作業をデジタル化して効率化する、  
インボイス管理サービス「Bill One」のオプション機能を紹介します。



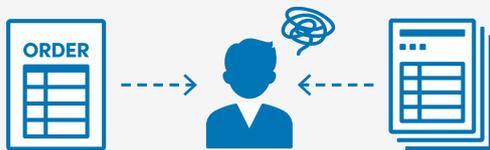
## アナログな確認が多い 発注データと請求書の照合作業

取引先名や発注日、品目、数量、金額といった項目について、  
発注データと受け取った請求書の照合作業を目視で行っている企業は多く、  
照合作業の実施部門、経理部門のそれぞれで多くの課題が発生しています。

### 照合作業に関する課題

#### 照合作業の実施部門

(発注を行った営業部門や総務部門など)



- ・ 発注データにひも付く請求書を  
探すことに時間がかかる
- ・ 目視で確認するため、  
チェック漏れが発生してしまう
- ・ 納品遅れや納品間違いにより、  
発注データと請求書の内容が異なり、  
事実確認に手間がかかる

#### 経理部門

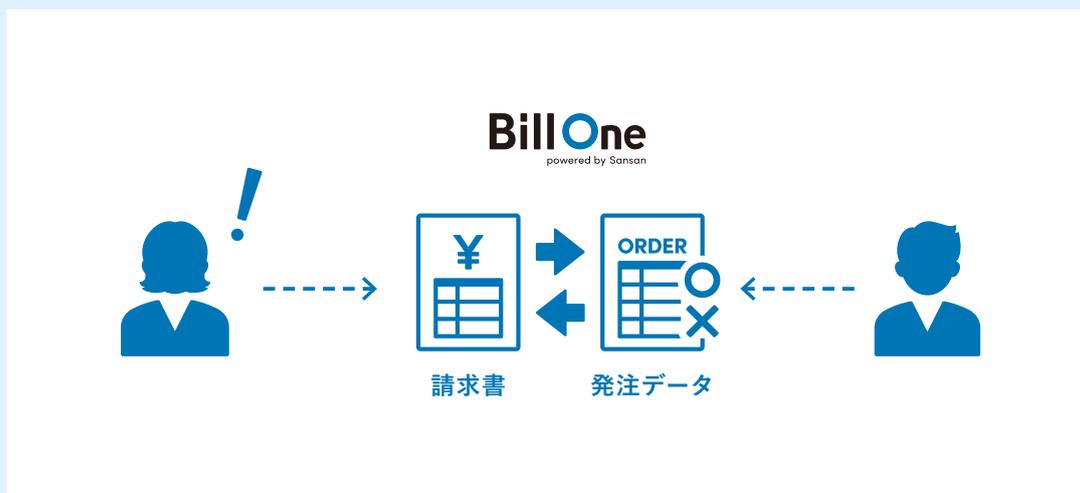


- ・ 発注データと請求書が  
別々に管理されているため、  
支払い前の作業にかかる負担が大きい
- ・ 何が支払い済みで、  
何が未払いの状態なのか  
チェックした結果が残らず、  
改めて確認する手間がかかる

## アナログな照合作業を効率化する Bill Oneの発注データ照合オプション

請求書情報が保存されたBill Oneに発注データを取り込むことで、  
手間がかかり、ミスも発生しやすかった照合作業を大きく効率化し、  
企業の月次決算をさらに加速します。

請求書の受領時に発生する照合作業を  
Bill Oneで行えるようになります



- ✓ 請求書と発注データが一致する場合は自動で照合できる
- ✓ 請求書とひも付けて、Bill One上で、発注データとの照合作業が行える
- ✓ 発注データと請求書の照合結果が一元管理できる
- ✓ 部署や担当者をまたいだ確認が効率化される
- ✓ アナログだった照合作業が効率化され、月次決算が加速される

## Bill Oneで行う照合作業の流れ

Bill Oneの発注データ照合オプションを利用した際の、  
受領した請求書と発注データを照合する作業の流れを紹介します。

STEP  
1

### 発注データをインポート

利用しているシステム・サービスから発注データをCSVファイルで出力し、Bill Oneにインポートします



STEP  
2

### 請求書と発注データを照合

Bill Oneに登録された請求書ごとに請求書と発注データをひも付けて、金額が一致する場合は自動で照合します



STEP  
3

### 照合結果の確認

発注データにひも付く請求書が可視化され、確認作業のステータスや照合結果を一覧表示で確認できます



## 活用するメリット

Bill Oneの発注データ照合オプションを利用することで得られるメリットは、  
照合作業の効率化ではありません。  
ヒューマンエラーによるリスクを低減し、生産性の向上にもつながります。



### 照合作業の実施部門

#### 照合作業が大きく効率化

請求書にひも付く発注データが簡単に確認できるようになります。また、Bill Oneの画面上で請求書と発注データの照合の多くを自動で行えるようになり、工数を削減できます。

Before



手作業による  
照合作業

After



多くの部分を  
自動で照合



### 経理部門

#### 部署や担当者をまたいだ確認が減る

別々に管理されていた発注データと請求書の一元管理が実現し、Bill Oneで照合結果や対応の進捗、支払い状況などを把握できることで、部署間や担当者間の確認が減ります。

Before



確認の都度、  
担当者間で連絡

After



照合結果を  
すぐに確認



### 経営層

#### ビジネスリスクが低減

請求書と発注データの金額が一致する場合には自動で照合が実施され、ヒューマンエラーが起こるリスクを低減。その結果、ビジネスリスクが低減されます。

Before



ヒューマンエラーが  
発生しやすい

After



業務の自動化で  
リスクが低減

## 導入事例

Bill Oneの発注データ照合オプションを利用する企業の導入事例です。  
照合作業にかかっていた時間が大きく削減されただけでなく、  
さまざまな業務課題の解決につながっています。



業種：製造業  
従業員数：1000名～2000名

請求書と発注データの

91%を自動で照合

1カ月で照合作業にかかる時間を

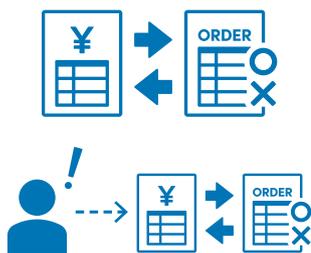
1/2に短縮

### 課題



- 発注データに対応する紙の請求書を都度探す必要があった
- 基本的に照合作業を目視で行っていたため、工数・時間がかかっていた
- 一人の経理担当者が対応していたため、業務の属人化が発生していた

### 導入効果



- 1カ月で必要な発注データと請求書の91%を自動で照合対応
- 自動照合できなかった9%も、Bill One上で照合
- 照合作業におけるペーパーレス化を実現
- 属人化していた業務が平準化され、現場の担当者以外でも照合作業に対応

請求書受領から、月次決算を加速する

# Bill One

powered by Sansan

Bill Oneは、Sansan株式会社が提供するインボイス管理サービスです。

さまざまな形式・方法で届く請求書をオンラインで受け取り、

請求書業務を効率化することで、企業経営における意思決定のスピードを向上させます。

請求書を発行する企業



郵送



メール添付



アップロード

Bill One

## ワンストップ受領

請求書の発行元には、これまで通りに請求書を送ってもらうだけ。  
紙の請求書は代理で受け取り、面倒なスキャンも行います。

## 99.9%\*の精度でデータ化

AI、OCR、入力オペレーターが、99.9%という高い精度で請求書をデータ化。  
請求書の受領やデータ化の完了を担当者にメールで通知します。

## クラウド上で一元管理

データ化された請求書は、専用のデータベースで一元管理できます。  
検索が簡単になり、他のシステムと連携させて活用することもできます。

Bill Oneの契約企業



\* Sansan株式会社が規定する条件を満たした場合のデータ化精度

## 3つのメリット



あらゆる請求書を  
オンラインで受け取れる



法改正に対応した  
業務フローを構築できる



経理部門に限らず  
組織全体の生産性が上がる

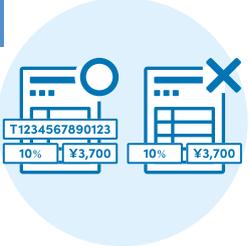
# 請求書に関する法改正には、Bill Oneが対応します。

2022年1月1日に改正が施行された電子帳簿保存法や、2023年10月1日に開始されたインボイス制度など、Bill Oneを導入することで、法制度に対応した体制を構築することができます。

## インボイス制度

2023年10月1日から消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始されました。適格請求書(インボイス)は、税務署長に申請し、登録された課税事業者のみが発行できます。請求書の受領企業が仕入税額控除を受けるためには、インボイス制度への対応が必要になります。

### 適格請求書の受領だけでなく、発行にも対応しています

	<b>発行</b>			<b>受領</b>	
フォーマットに沿った 適格請求書の作成		適格請求書の発行 (紙・電子の両方に対応)	登録番号の照会 (国税庁のシステムとのAPI連携)		適格請求書の要件を 自動でチェック

## 電子帳簿保存法

電子帳簿保存法(電帳法)により、電子請求書は電子保存しなければならなくなりました\*。紙の請求書にも対応しながら、電子請求書を取り扱う必要があるため、コストをかけずに混在する紙と電子の請求書を一元管理する方法が求められています。

### 電帳法で定められた保存要件を満たして、請求書を電子保存します

			
正確なデータ化	タイムスタンプ	変更履歴・対応履歴の保存	請求書の検索

\* 2022年1月から2023年12月31日までの間において電子取引によって授受した電子データ(請求書を含む)を保存要件に従って保存することができなかったことについて、やむを得ない事情があると認められ、かつ、その電子データについて出力書面(整然とした形式・明瞭な状態に限る)を提示または提出できる場合には、引き続き保存期間終了まで出力した書面による保存が可能となります(令和4年度税制改正)。

\* 2024年1月1日以降に授受した請求書を保存要件に従って保存することができなかったことについて、相当の理由があると認められ、かつ、その請求書について電磁的記録のダウンロードの求め及び当該電磁的記録の出力書面(整然とした形式・明瞭な状態に限る)を提示または提出できる場合には、保存要件を不要として、電子データの保存が可能となります(令和5年度税制改正)。

**Bill One**  
powered by Sansan

お問い合わせ | デモ依頼やお見積りについては、お気軽にお問い合わせください

bill-one@sansan.com

0800-100-9933

https://bill-one.com

Sansan株式会社 [本社] 〒150-6228 東京都渋谷区桜丘町1-1 渋谷サクラステージ 28F